

横浜うみみらいプロジェクト

- 環境未来都市ヨコハマで私たちができること -



ブルーカーボンと潮入りの池を融合させた、市民の憩いの場を創出する ～徒歩で気軽に海のおいと生態系を感じられる新市庁舎～

UDS-seaは大学の教授を始め、各専門分野で大きくご活躍をされている社会人の方や横浜市
の職員の方が集まった有志の団体です。私たちは、UDC-seaの活動理念をもとに、学生の立場から、
何か提案をすることができないか考えてみようということで活動を開始しました。UDS-seaの活
動理念とは、「横浜を海に開かれた海都としてもう一度捉え直し、海と共にあるまちづくりを
市民・企業・大学・行政の垣根を超えて考える」ことです。近年横浜市は、環境未来モデル都
市として、官庁からSDGsを達成するにたるモデル都市になるように指定されました。そのこ
とからUDC-seaでも資源・環境・エネルギーなどを扱う3つの分科会にわかれて議論を行っていま
す。

私たちの活動内容は、主に3つに分けられます。1つは、UDC-seaで定期的に行われる各分科
会の討論会に参加したり、野外での調査に同行させていただき、情報を収集すること。2つ目
は、その情報をもとに、自分たちでみなとみらい周辺を解析し、どのようにすれば横浜の海と
良好な関係を気づくことができるかを考えること。そして3つ目は、議論の結果見えてきた課
題や、アイデアをUDC-seaの討論会で共有させていただくことです。

今回は、UDC-seaのメンバーの方と資源循環公社にご協力を頂き、毎年横浜市の大学生40名ほ
どが参加される「学生企画エコツアー」という企画を運営させていただきました。

また、シーバスに乗って海からみた横浜の景観について議論したり、マリンスポーツであるSUP
の体験をさせていただき、横浜の海の有効利用についても考えました。そして、それらの経験
と自分たちの興味を集結させて、上記のようなコンセプトで次回のUDC-seaの分科会で提案を予
定しています。今回は第一分科会のテーマを軸にしましたが、来年度はエネルギーについて議
論を深めようと思っています。

■学生：3名（松田拓巳、木村心香、関戸一樹）

担当教員：松田裕之、吉田聡、野原卓

■連携・協力：UDC-sea

■サイト：<http://ecorisk.ynu.ac.jp/matsuda/UDCSEA/index.html>